

SDGs とは

国際連合が掲げた 2030 年までに達成を目指す全人類共通の 17 の目標。世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみならず 2030 年までに解決していこうという計画・目標のことで、国だけでなく自治体、企業、そして私たち一人ひとりが「自分の事」として行動することが求められています。

＜一陽会病院の SDGs への取り組み＞

★医療への取り組み (SDGs3・10・11)

心病む人により良い医療を提供し地域に信頼される病院づくりを目指して日々尽力しています。

社会医療法人として精神科救急医療を担い県北で唯一の急性期治療病棟を持っています。

また障がいを持った方が平等に機会を与えられ、住み慣れた地域で充実した生活を送れるような社会を目指し支援を続けています。



★教育への取り組み (SDGs4)

●人材育成

当院で育成可能な精神科看護の専門性を重視し、またキャリアラダー（職業人としての発達段階）の視点を加えた教育プログラムを展開しながら人材の育成に取り組んでいます。

●看護学生の実習受入

学びの場として看護学生の実習受入をしています。



★雇用への取り組み (SDGs5・8)

●仕事と家庭の両立支援

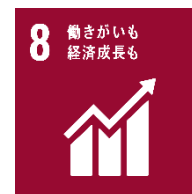
職員の多様な働き方への対応を進めています。女性職員が活躍できるサポート体制・環境の充実、男性職員の育休取得も推進しています。

●地域活動支援センターひまわり

当院の家族会で就職前段階のトレーニングとして作業所を運営。働きたいと思う方に最初のステップとして「働く場所」を提供しています。

●社会生活サポートセンターMIRAI

休職している患者さんの復職を支援するためにリワークプログラムを実施しています。



★環境への取り組み (SDGs3・7・11・12・13・14・15)

●福島議定書への参加

地球温暖化対策への取り組みである「福島議定書」に2021年7月にエントリーしました。当院全体で次の活動に取り組んでいます。



●節電・省エネ推進

福島県省エネアドバイザーの助言も受けながら、節電POPの掲示や、エアコン、照明の細やかな管理により省エネに取り組んでいます。



●エコキャップ運動

ペットボトルのキャップを回収し、発展途上国の恵まれない子供たちにワクチンを寄付する取り組みを行っています。



●地域の清掃活動

福島市の「ふくしまきれいにし隊」に参加し、近隣地域の清掃活動に取り組んでいます。



●緑を育む活動

デイケアではプログラムの一つとして、野菜の栽培や庭木の育成など緑を育む活動を行っています。



●資源の無駄を生まない活動

ラベルレスペットボトルの導入、裏紙の積極活用、雑誌・古新聞のリサイクル、作業活動で余った資材の再利用など、各部署で再利用やリサイクルへの意識を持ち実践しています。

